



|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 開放経済下における環境政策の理論分析                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Author(s)    | 杉山, 泰之                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Citation     | 大阪大学, 2008, 博士論文                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Version Type |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/49348">https://hdl.handle.net/11094/49348</a>                                                                                                                                                                                                 |
| rights       |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Note         | 著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 <a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed">＜a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"&gt;https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed</a> >大阪大学の博士論文について <a>&lt;/a&gt;</a> をご参照ください。 |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【2】

|               |                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------|
| 氏 名           | すぎやま やす 之                                            |
| 博士の専攻分野の名称    | 博 士（経済学）                                             |
| 学 位 記 番 号     | 第 2 2 3 7 6 号                                        |
| 学 位 授 与 年 月 日 | 平成 20 年 6 月 23 日                                     |
| 学 位 授 与 の 要 件 | 学位規則第 4 条第 1 項該当<br>経済学研究科日本経済・経営専攻                  |
| 学 位 論 文 名     | 開放経済下における環境政策の理論分析                                   |
| 論 文 審 査 委 員   | （主査）<br>教 授 阿部 顕三<br><br>（副査）<br>教 授 二神 孝一 准教授 山本 和博 |

論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、国際貿易下での環境政策の有効性や貿易政策が環境に及ぼす影響などについて、応用一般均衡モデルを用いて精緻な分析を行っている。論文は、これまでの文献のサーベイを含む4つの章から構成されている。

第1章「貿易と環境に関する基礎理論」では、貿易と環境に関する現実の議論を紹介すると共に、統一的な基本モデルを用いて(i)環境政策や要素賦存量と貿易構造、(ii)小国や大国における最適な環境政策などの観点から先行研究をサーベイしている。さらに、先行研究との比較を通じて、第2章以降の内容を紹介している。

第2章「排出税、汚染削減装置投入に対する補助金と国際貿易」では、フロン回収装置やディーゼル排気微粒子除去フィルターなどの汚染削減装置産業を加えた小国開放経済モデルを用いて、最適な排出税や装置投入補助金の導入の厚生効果について分析している。排出税と装置投入補助金は、汚染物質を排出する最終財部門の費用構造に逆の影響を与える。そこで、装置投入補助金の場合、最終財の生産量が増加し、総排出量も増加する可能性があることを指摘している。さらに、このようなケースにおいて、もし排出税の水準が限界外部損失よりも低いのであれば、装置投入補助金の導入により当該国の経済厚生は低下することを明らかにしている。

第3章「輸出加工区の開設と環境政策」では、発展途上国が頻繁に使用する経済政策の一つである輸出加工区の開設に着目し、その開設が環境に及ぼす影響について分析を行っている。これまで、このような問題に関する理論的な分析はほとんど行われてこなかった。本章では、まず小国開放経済において輸出加工区の開設が資源配分や環境の水準に与える影響を分析している。さらに輸出加工区を開設する国開放経済での最適な総排出枠を示している。特に、国内の企業が輸出加工区の企業より汚染集約的な場合でも、輸出加工区の開設により最適な総排出枠は強化される可能性があることを明らかにしている。

第4章「排出削減技術のトランスファーと都市失業」では、先進国から発展途上国への排出削減技術の支援の問題を取り上げる。本章では伝統的なハリス＝トダロ・モデルを次の2つの点で拡張した。第1に、都市製造品の生産から汚染物質が排出される。第2に、労働者の都市と農村の移動に際して、その地域での環境の状態が移動の意志決定に少なからず影響していると考え、期待効用に基づく労働移動条件を採用している。このような拡張されたハリス＝トダロ・モデルを用いて、排出削減技術のトランスファーは受入国の総排出量を低下させる一方、失業率を悪化させるが、当該国の経済厚生は変化しないことなどを明らかにしている。

#### 論文審査の結果の要旨

本論文は、開放経済下における排出税や排出枠の設定、汚染削減装置投入に対する補助金、排出削減技術のトランスファーなどの環境政策の有効性やそのあり方について、国際貿易を含む一般均衡モデルを用いて精緻な分析を行っている。一見してこれらの政策がもたらすであろうと考えられてきた効果が、副次的な効果を通じて意図されていなかった資源配分効果や厚生効果を生み出すことが明らかにされている。本論文で用いられているフレームワークは斬新なものであり、重要な政策的含意を導いている。以上から、博士（経済学）に十分に値すると判断する。